

大湾区情報 No. 21

グレーターベイエリア情報 発行：2021年9月28日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【HSBC、恒生（ハンセン）銀行、中国銀行香港、スタンダードチャータード銀行の香港地場4行が先んじてクロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト（跨境理財通）事業申請】



クロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト（跨境理財通）の細則が9月10日（金）発表されましたが、HSBCと恒生銀行は、早くも週明けの13日（月）に正式に業務申請書を提出しました。香港では、現時点で中国銀行香港

(Bank of China (Hong Kong)) とスタンダードチャータード銀行を含め、4行が当局に正式に申請を提出しました。

HSBC 大湾区業務部総経理陳慶耀氏は、最近のインタビューで、HSBC は跨境理財通の準備作業が完了し、10月には早くもサービス提供を開始し、最初のサービスプロバイダー銀行の一つになることを確信しており、「南向通」（サウスバウンド）と「北向通」（ノースバウンド）のサービスを同時に開始できる見込みであると述べています。

HSBC 香港は初期段階においては、グループである HSBC 中国との協業にて同事業を進める予定をしているが、現段階で既に複数のグループ外の金融機関との協力の機会についても検討しており、商品の供給、システムのインターフェイス、投資家権益保護などの問題について深く議論しており、進捗は良好であると陳氏は説明しました。

HSBC : 100 種類以上の商品を準備、中国でタイプ I タイプ II 口座開設済のユーザーは、中国本土に出向くことなく跨境理財通専門口座開設が可能

債券、ファンド、預金などを含め、HSBC はすでに 100 種類以上の商品を用意しており、将来的に投資家は HSBC の既存のモバイルアプリにより、金融商品を売買したり、様々な商品の情報にアクセスできるようになります。

現状、中国本土の跨境理財通投資家は、中国側にて銀行の認証手続きを行えば、香港への渡航なしで香港の口座を開設できますが、香港側の投資家は中国本土の銀行に自らが出向いて口座を開設する必要があります。ただし、HSBC では、中国本土のタイプ I およびタイプ II の銀行口座を開設したことのある既存顧客は、香港側での手続きのみで跨境理財通専門口座開設が可能であり、本人が中国本土へ出向く必要はないと陳氏は述べています。

陳氏は、跨境理財通が投資家に人気が出ることを期待していますが、投資家が

当サービスについて理解をするのはさらなる時間が必要であると考えられることから、HSBCは今後教育と宣伝をいっそう強化していくと述べています。

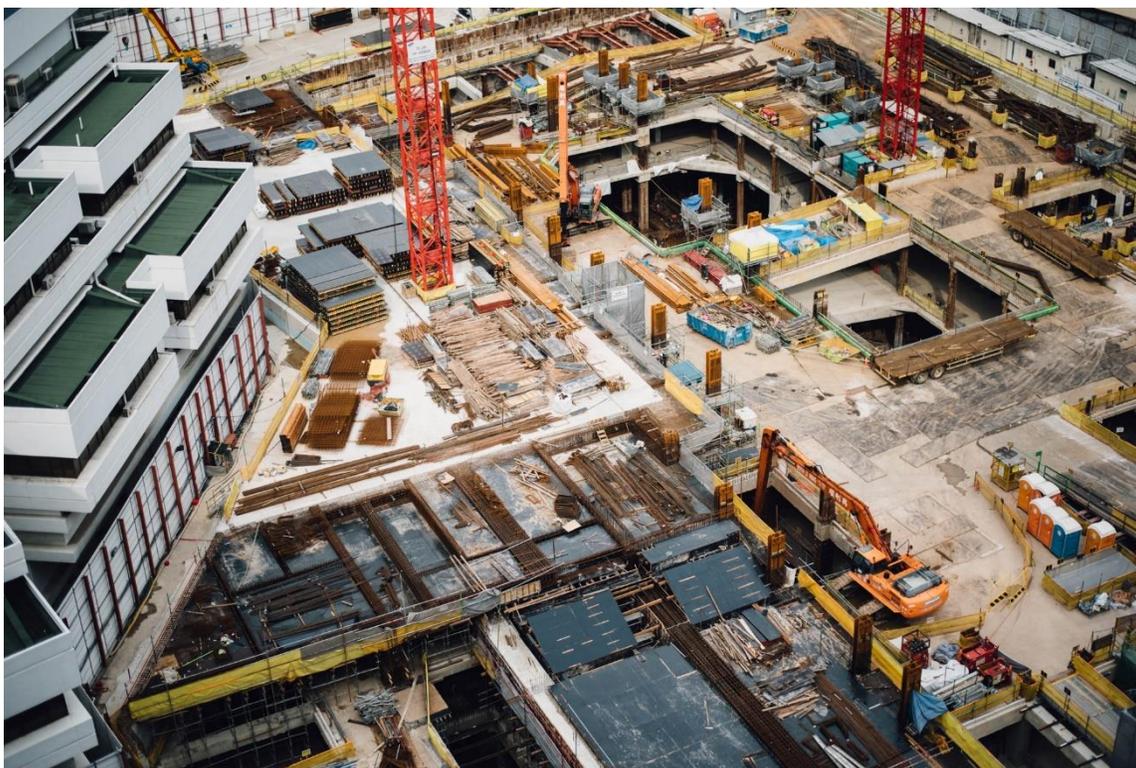
中国本土の個人銀行口座はタイプⅠ、Ⅱ、Ⅲの3種類に分かれており、それぞれ主な使用目的や口座開設のプロセスが異なり、その違いが今回の跨境理財通の口座開設アレンジにも適用されます。

タイプⅠは最も汎用性の高い口座で、主に現金の引き出し、大口送金や消費、金融商品の購入などに使用されます。タイプⅡは主に個人消費、オンラインショッピング、オンライン支払いなどに使用されます。これらの口座は金融商品の購入にも使用できますが、使用限度額が設定されています。

タイプⅢのアカウントは、主に少額で高頻度の取引に使用されます。タイプⅡとタイプⅢは、リモートでの口座開設が可能となっていますが、タイプⅠはこれまで通り、ユーザーが直接銀行に出向く必要があります。

一部の香港の銀行では、香港市民が香港にいながらにして中国本土の銀行口座を開設できるサービスを提供しており、中国銀行香港はその中の一つです。しかし、中国銀行の公式サイトによると、上記の方法による口座開設はタイプⅡとⅢの口座に限られており、消費、送金、現金引出には1日毎および1年毎それぞれの限度額が設定されています。

【大湾区建設に新たな弾みをつける「横琴計画」「前海計画」発表】



中国共産党中央委員会及び国務院は、9月5日に「横琴広東マカオ緊密協力区建設全体計画」（横琴計画）、9月6日に「前海深圳香港現代サービス産業協力区の改革開放の包括的推進計画」（前海計画）を発表しました。

横琴：辺境の島が目まぐるしい発展を 前海：「3つのロット」と呼ばれる目覚ましい成果を上げた前海

2009年、横琴の開発、開放の幕が正式に開かれました。わずか10数年の間に、横琴は辺境の島から目まぐるしい発展を遂げ、横琴広東マカオ緊密協力区建設の基礎が築かれました。

横琴では、既に計622の改革・革新イニシアチブが実施され、537の大湾区内行政サービスがオンラインで利用可能になり、国境を越えた237の行政承認サービスがオンラインで利用可能になっています。

また、横琴のマカオ経済の多様化、発展を促進するという役割においても成果が現れてきています。これまでにマカオ資本の横琴企業は**4,578**社登記されており、**314**社のマカオ企業が横琴でのクロスボーダーオフィスを運営しています。広東マカオ協力産業園では累計**25**のプロジェクトに土地を提供し、**793**億人民元の投資が既に合意に至っています。広東マカオ協力中医薬科技産業園では、累計**50**のマカオ医薬プロジェクトが育成され、マカオの**4**つの国家重点実験室が横琴に分室を設置、**613**のマカオのイノベーション/起業プロジェクトが起業支援により集積されました。また、香港とマカオの職業専門資格の単方向相互承認が実施されたことにより、香港・マカオから**589**名のツアーガイドと、香港・マカオの建築企業**57**社及び**269**名の香港・マカオの建設専門家の資格が承認されました。また、マカオの医師**53**名、マカオのソーシャルワーカー**7**名についても資格承認され、横琴で開業しました。

マカオ居民の横琴での生活もますます便利になってきています。**1**万人のマカオ人に快適な生活空間を提供する住宅プロジェクト「澳門新街坊（Macau New Neighborhood）」の建設が開始されました。また、横琴に出入り可能なマカオナンバー車両の総割当量を**1**万台に増やし、マカオ市内総会横琴総合サービスセンターでは、延べ約**7**万人の横琴のマカオ居民にサービスを提供しました。

また、近年香港と深圳の協力関係が深まる中、前海は以下の**3**つの点において目覚ましい成果を上げています。

まず、前海にはIT、金融、保険、コンサルティングなどの現代型サービス業を営む香港企業が集まっています。香港資本による登記企業が**11,500**社、使用された香港資本は計**226**億米ドルになります。

また、制度上のイノベーションの成果により、合計**645**の革新的制度が導入され、そのうち**65**制度が前海から全国にまで広がりました。

3点目に、香港人の生活や雇用を促進するための施策が導入されました。現在、香港の税理士や建築士など、**20**種類以上の香港の人材が前海で容易に開業

できるようになっています。これまでに延べ 245 の香港の起業家チームが、「前海深圳香港青年夢工場」やその他のプラットフォームにおいて産声をあげました。

今回の「横琴計画」と「前海計画」の正式発表は、横琴と前海の建設を本格的に進め、前進させる新たなステージとなり、2つの協力区の建設は、新しい開発段階における広東省の改革発展に大きな機会を提供するものであり、広東省が「一国二制度」の全体的な状況に奉仕するための戦略な舵を取り、改革の全体的な深化を促進するための戦略的プラットフォームとなり、新しい開発パターンを促進するための戦略的支援である、と共産党広東省委常委委員、常務副省長の林克慶氏は述べました。

「横琴計画」のマカオ経済の多様な発展促進のための支援政策

「横琴計画」は、マカオ経済の多様な発展を促進するという初心に忠実に、マカオと横琴の一体化発展を促進することに基づいて計画・設計されています。

重点産業の発展を加速させるために、「横琴計画」ではいくつかの支援政策を定めています。例えば、マカオと横琴の間の境界線である「第一線」における検問所・税関の管理を緩和し、中国本土の他地域との境界線である「第二線」を経由して協力区内の適格企業が生産した商品が中国本土に輸入された際に輸入関税が免除されるようになります。また、条件を満たした企業の場合、法人所得税が 15%に減税され、協力区内で働くハイレベル人材や緊急不足人材に対しては、個人所得税の 15%を超える部分が免除されます。行政規則により明確に掲載されている免税（保税）対象外とされているもの以外の商品・物品の免税（保税）により輸入することができます。

マカオ特区政府は、今後もマカオの若者による協力区でのイノベーション、起業、雇用を促進するとともに、協力区内の科技研究開発やハイエンド製造業など

の産業の発展に力を入れ、マカオの若者が横琴で才能を発揮できる場を提供していきます。

「前海計画」は、「拡大」と「改革開放」に重点を置き、香港の若者のイノベーション起業をさらに支援

「前海計画」では、「拡大」と「改革開放」の2つの重点分野を中心に、3つの課題の解決を推し進めています。

1つ目は、「前海協力区」の開発スペースの拡大です。前海の協力区の総面積を現状の14.92平方キロメートルから120.56平方キロメートルに拡大し、関連する支援政策は徐々に拡大後の全エリアをカバーするように拡張されます。

2つ目は、改革とイノベーションのテストプラットフォームを全面的な推進となります。主要な改革任務については、全国に先駆けて試行し、現代サービス業の革新的発展の促進や、科学技術発展のための制度的メカニズムの改革・革新の加速などの課題を提案しています。

3つ目は、対外開放のためのハイレベルなゲートウェイ・ハブを構築することです。よりハイレベルの開放経済の新たな体制を構築し、香港・マカオとのサービス貿易の自由化を推進し、金融産業の対外開放の拡大など、強力な取り組みが提案されています。

「前海計画」は香港と深圳の協力関係を新たなレベルに引き上げるものであり、香港のビジネス業界や専門サービス業者は、前海計画が香港の人々や企業にもたらす新たな機会に向けて、すでに積極的に準備を進めています。」と香港特別行政区政務長官李家超氏が述べました。香港政府が中央政府の関連省庁や委員会と「中国本土と香港の経済連携緊密化取り決め」（CEPA）を通じて「前海計画」に基づくサービス貿易のさらなる自由化措置の早急なる実施について協議します。香港政府は、関連業界と手を携えて、拡大された前海エリアの金融、イノベーションとテクノロジー、法律、ビジネス環境の分野でアドバイスを提供

し、連携をとっていきます。一方、香港政府は、広東省政府や深圳市政府との協力関係を強化し、香港の若者が前海でイノベーションや起業を行うことをさらに支援していきます。

【参考資料】

・ [【跨境理財通】HSBC と恒生銀行がクロスボーダー・ウェルスマネジメント・コネクト事業申請、計4行が応募\(香港経済日報 2021年9月14日\)](#)

・ [【理財通豆知識】中国本土銀行口座は3タイプ、うち2タイプの口座保持者は理財通口座開設に本人が香港から出向く必要なし\(香港経済日報 2021年9月13日\)](#)

・ [大湾区建設に新たな弾みをつける「横琴計画」「前海計画」発表](#)